

大分県地域成人病検診センターを受診された方々へ

大分県地域成人病検診センターでは健診を受診された方の情報を元に解析を行う大分大学の研究に協力しています。本研究への情報の使用を拒否される場合はお申し出ください。

【研究課題名】メタボリック症候群や体重増加と逆流性食道炎、バレット食道の関係

【研究の対象】

2019年1月1日から2021年12月31日までに大分県地域成人病検診センターを受診し、上部消化管内視鏡検査を施行された方。

【研究の目的・方法について】

胃食道逆流症(GERD)の中でも、内視鏡でびらんを認める逆流性食道炎は欧米諸国で有病率の高い疾患です。高齢化や食生活の欧米化により近年日本においても増加傾向がみられます。逆流性食道炎は胸やけなどの症状による生活の質の低下を引き起こし、多額の医療費が使われています。本疾患の危険因子として肥満やメタボリック症候群が報告されています。さらに逆流性食道炎から引き起こされるバレット食道は食道がんの前がん病変です。また、体重増加がGERDの発症と関係していると報告されていますが、体重増加が逆流性食道炎と関係しているかについては十分には解明されていません。そこで今回の研究では、肥満やメタボリック症候群が逆流性食道炎と関係しているかを検討します。また、10年前の体重の情報から、この10年の体重増加が逆流性食道炎と関係しているかについても検討を行います。

【研究期間】

西暦2021年3月22日～西暦2026年3月31日

【研究方法】

2019年1月1日から2021年12月31日までに大分県地域成人病検診センターを受診し、上部消化管内視鏡検査を施行された方を対象として、健診結果などの情報を収集します。また10年前の体重ならびに腹囲のデータがある方についてはそのデータも使用します。上部消化管内視鏡検査で逆流性食道炎、バレット食道を認める方と認めない方について、肥満の有無やメタボリック症候群の項目、ここ10年間の体重の変化を含め背景比較を行います。

【使用させていただく情報について】

本研究では、年齢、性別、体重、腹囲、上部消化管内視鏡所見などの情報を大分大学医学部へ提供させていただきます。なお、お名前などの個人情報は削除され、匿名化が施されたうえで大分大学へ提供されますので、個人の情報は厳密に守られます。この研究の結果はきちんと記録し、学会や医学雑誌に発表されることがあります。しかしいずれの場合にもあなたのプライバシーに関するすべての秘密を保持することを保証します。

【使用させていただく情報の保存等について】

本研究で収集した健診情報は論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、大分大学医学部において、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への情報の提供】

本研究で得た情報を大分大学医学部以外の他の機関へ提供することはありません。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

大分大学医学部地域医療学センター 塩田 星児

【研究資金及び患者さんの費用負担について】

費用については大分大学医学部総合診療・総合内科学講座の基盤研究費にて賄い、対象となる方の個人への追加費用は発生しません。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

原則的に当センターを受診される方においてはデータを収集し評価させていただきますが、もしご協力いただけないようであればその旨遠慮なくお知らせください。同意されなくても、当センターでは同じように最善の健康診断を提供いたします。何かご質問があれば、当院の担当者に申し出てください。

【研究組織】

研究責任者	大分大学医学部地域医療学センター	准教授	塩田 星児
研究分担者	大分大学医学部総合診療・総合内科学講座	教授	宮崎 英士
	大分大学医学部医学科学生		柴田 愛香

【既存試料・情報の提供のみを行う機関】

大分県地域成人病検診センター 高山博樹

【問い合わせおよび研究にご協力いただけない場合の連絡先】

大分大学担当者 連絡先

大分大学医学部総合診療・総合内科学講座

研究責任者 塩田星児(しおた せいじ)

(電話) 097-586-6306

なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。